

サニーメイズNEWS

2013年 11月

発行 株式会社サニーメイズ
静岡県静岡市清水区横砂南町2-1

TEL 054-365-5163
FAX 054-364-2578

トウモロコシの在庫について

単位100万ブッシェル

(8月予測) 米国産 13年/14年クropp

期初在庫	719
生産	13,763
輸入	30
国内消費	11,450
輸出	1,255
期末在庫	1,837
在庫率	14.5%

(11月予測)

期初在庫	824
生産	13,989
輸入	25
国内消費	11,550
輸出	1,400
期末在庫	1,887
在庫率	14.6%

今後のトウモロコシ相場のポイント

強(上昇)材料

- ・韓国向け等大口の、米国からの輸出需要
- ・下げ過ぎ感の台頭(農家の売り控え)
- ・来年度、作付けが大豆へシフトの可能性

弱(下降)材料

- ・エタノール使用義務数量削減の噂
- ・単収・収穫量の増加見通し
- ・作付け中の、南米の良好な天候

(エタノール削減の噂)

2014年に、エタノール使用6%削減(144億ガロン 135億ガロン)の
情報があります。その差9億ガロンをコーン換算(1ブッシェル=エタノール2.8
ガロン)すると、300万ブッシェル強のコーンが、エタノール向けから減少。

その場合、期末在庫率の上昇が期待される事になります。

トウモロコシの輸入主体 再び米国産へ?

昨年6月頃より減少していた米国産トウモロコシの輸入量は、世界中で占める割合
が、50%を下回る場面が長期化していましたが、本年夏以降、シカゴ相場が下がり
既にブラジル産は米国産価格を上回っています。また、ウクライナ産も米国産並に
上昇して来ました。

この先、米国産のシェアは間違いなく高まるものと見られますが、ブラジル、アルゼンチンに加え、ウクライナ、ルーマニアといった、新興勢力が一旦増加したシェアを維持する為に、米国産より安い価格提示をする可能性もあります。米国産が以前のシェア90%台まで戻るかは、疑問が残ります。

トウモロコシ全輸入量に占める米国産のシェアの推移

04年	05年	06年	07年	08年	09年	10年	11年	12年	13年
96.3	94.3	97.1	92.9	98.7	96.1	86.3	86.9	67.0	30.9

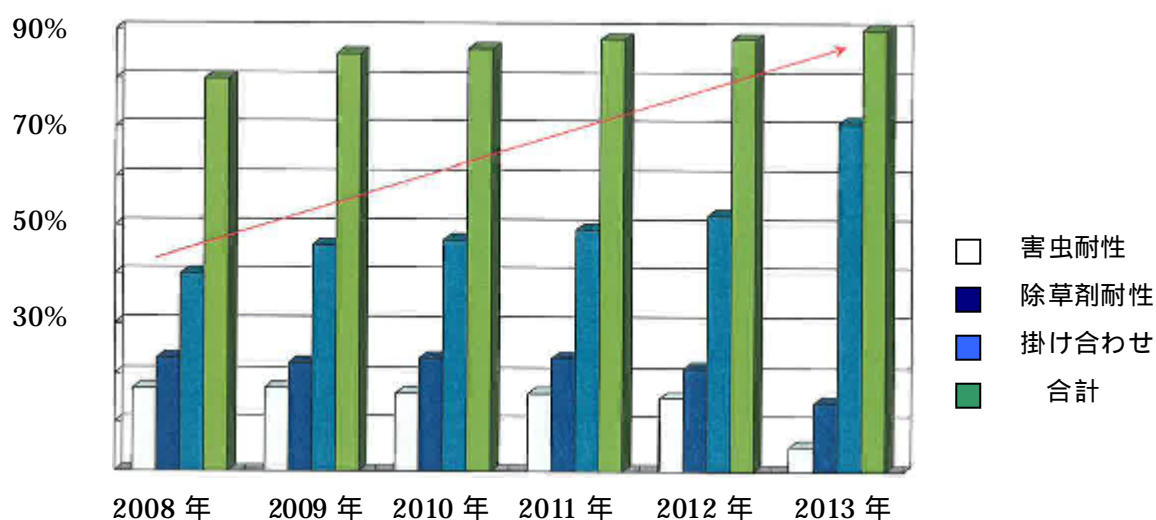
2013年は1～8月累計

以上「貿易通信」より

組み換え種子 米国で普及

米国で遺伝子組み換え（GMO）作物の普及が進んでいます。トウモロコシや大豆では害虫や除草剤などへの耐性を持つ種子のシェアが増大。昨年の干ばつを機に、乾燥に強い種子の拡大にも弾みが付いた様です。

米国での遺伝子組み換えトウモロコシの作付けが、2000年の25%から徐々に上がり本年は90%に達しています。



非遺伝子組み換え穀物の希少性が年々上昇している事から、その検査回数や検査費、さらには遺伝子組み換え穀物との分別に関わる諸々の費用が上昇の、事実もあります。